

令和6年 近畿 一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Kinki



2024

- 水質調査結果
- 住民参加による水質調査の実施状況
- 水質事故等の発生状況
- 特集 近畿の河川-円山川-

まるやまがわ

まるやまがわ
円山川流域はどんな地域？

まるやまがわ
円山川の水環境を知ろう！

まるやまがわ
円山川周辺環境がすごい！

令和6年 近畿一級河川の水質現況 CONTENTS

水質調査結果

主要河川の水質	2
過去10年間の水質改善状況	3
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	3
ダイオキシン類実態調査結果	4

住民参加による水質調査の実施状況

住民参加による水質調査の実施地点、参加者数	6
-----------------------------	---

水質事故等の発生状況

水質事故等の発生状況	9
------------------	---

特集

近畿の河川-円山川-	10
------------	----

水質調査結果

近畿地方整備局管内では、直轄管理している10水系169地点で水質調査を行っており、そのうち、類型指定されている115地点における令和6年の結果を見ると、91%の地点で環境基準を満足する結果となりました。

今後も、水質改善に繋がるよう、小学校や中学校と連携した水生生物調査による意識啓発や水に親しむイベント、清掃活動など市民・企業・大学・行政が連携した取り組みを継続して行きます。

主要河川の水質

令和6年「水質が最も良好な河川」に選ばれたのは、熊野川（和歌山県）と北川（福井県）、の2河川です。熊野川は6年連続、北川は4年連続で選ばれました。

【水質が最も良好な河川の定義】

主要河川のうち、以下の両方の条件を満たす河川

- ① 対象河川の各調査地点のBODの年平均値について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/ℓ（※1）（小数点以下第二位を四捨五入）
 - ② 対象河川のBOD75%値（※2）について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/ℓ（小数点以下第二位を四捨五入）
- ※1：環境省の定めるBODの報告下限値（0.5mg/ℓ）
※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、 $0.75 \times$ データ数番目の値（3頁下段 [用語](#) 参照）

令和6年の近畿地方17河川の地点別年平均値

水系名	河川名	調査地点		各地点のBOD年平均値※(mg/ℓ) ※【 】は75%値
		地点数	府県名	
新宮川	くまのがわ 熊野川	2	和歌山	熊野大橋 0.5【<0.5】 熊野川河口 0.5【<0.5】
紀の川	きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.6【0.5】 御蔵橋 0.7【0.6】 恋野橋 0.6【0.5】 岸上橋 0.6【0.5】 三谷橋 0.6【0.6】 藤崎井堰 0.7【0.7】 船戸 0.9【0.7】 新六ヶ井堰 1.2【0.7】 紀の川大橋 1.2【0.7】
大和川	やまとがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 3.3【3.8】 太子橋 2.9【2.9】 御幸大橋 2.3【2.7】 藤井 2.0【2.3】 国豊橋 1.7【1.8】 河内橋 1.4【1.6】 浅香新取水口 1.2【1.3】 遠里小野橋 1.3【1.4】
淀川	よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・大阪	洗堰下 1.0【1.1】 宇治橋 0.7【0.7】 隠元橋 0.7【0.9】 観月橋 0.7【0.6】 宇治川大橋 0.7【0.7】 宇治川御幸橋 0.9【1.0】 枚方大橋 0.9【1.0】 鳥飼大橋 0.9【1.0】 菅原城北大橋 1.0【1.0】 伝法大橋 2.4【3.7】
淀川	やすがわ 野洲川	2	滋賀	石部 0.9【1.0】 服部 0.9【0.8】
淀川	かつらがわ 桂川	5	京都	渡月橋 0.6【0.7】 西大橋 0.7【0.8】 久世橋 0.7【0.7】 羽束師橋 0.9【0.8】 宮前橋 1.1【1.1】
淀川	うだがわ 宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.8【0.8】 高倉橋 0.7【0.7】 辻堂橋 0.8【1.0】 室生路橋 0.8【0.7】
淀川	なばりがわ 名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.7【0.8】 名張 0.8【0.9】 家野橋 0.8【0.9】 高山ダム下流 1.0【1.1】
淀川	きつがわ 木津川	8	三重・京都	大野木橋 0.8【0.9】 長田橋 1.1【1.3】 岩倉橋 1.1【1.3】 島ヶ原大橋 1.1【1.4】 笹瀬橋 1.1【1.1】 加茂恭仁大橋 0.8【0.9】 玉水橋 0.7【0.8】 木津川御幸橋 0.7【0.9】
淀川	いながわ 猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.7【0.8】 軍行橋 0.8【1.0】 猪名川橋 0.8【1.0】 利倉 2.5【2.6】
加古川	かこがわ 加古川	4	兵庫	大住橋 0.9【1.0】 国包 1.1【1.0】 池尻 1.3【1.1】 相生橋 0.9【0.6】
揖保川	いぼがわ 揖保川	6	兵庫	曲里 0.5【<0.5】 山崎 0.6【0.6】 嘴崎橋 0.6【0.5】 龍野 0.6【0.6】 上川原 0.6【0.6】 本町橋 0.8【0.8】
円山川	まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.5【0.6】 立野 0.5【0.5】 結和橋 1.6【2.2】 港大橋 1.1【1.5】
由良川	ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.6【0.7】 筈巻橋 0.6【0.6】 波美橋 0.5【0.5】 由良川橋 0.6【0.7】 以久田橋 0.6【0.6】
北川	きたがわ 北川	3	福井	上中橋 0.6【0.5】 高塚 0.5【<0.5】 西津橋 0.5【<0.5】
九頭竜川	くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.5【0.5】 新布施田 0.7【0.7】 高屋橋 0.7【0.6】 九頭竜川河口 1.1【0.7】
九頭竜川	ひのがわ 日野川	2	福井	深谷 0.9【1.0】 日光橋 1.0【1.1】

用語

主要河川：直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川を指す。
BOD(生物化学的酸素要求量)：河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ（有機物）が微生物により分解されるときに消費される酸素の量のことで、BODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

過去10年間の水質改善状況

猪名川 利倉地点は、全国で2位でした。

10年前のBOD年平均値と比べた水質改善状況をみると、近畿で改善幅が大きく全国上位の地点は利倉（猪名川）、伝法大橋（淀川）でした。

特に、利倉（猪名川）地点は、平成29年から令和5年まで、改善幅が全国で最も大きく、令和6年も全国2位となりました。

過去からの河川水質改善状況

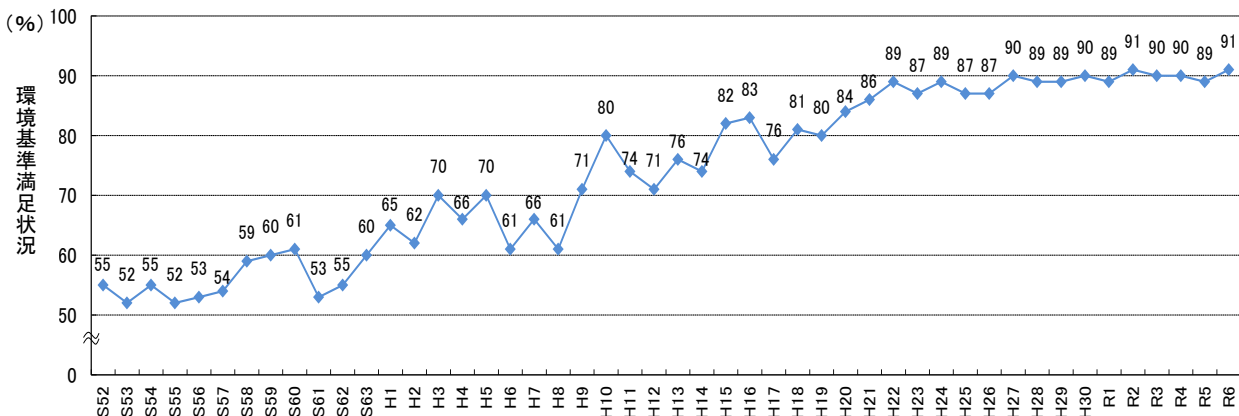
順位	水系名	河川名	地点名	①平成26年 BOD 平均値 (mg/ℓ)	②令和6年 BOD 平均値 (mg/ℓ)	①と②比較 水質改善幅 (mg/ℓ)
1	淀川	猪名川	利倉	7.5	2.5	5.0
2	淀川	淀川	伝法大橋	7.3	2.4	4.9

全国
2位

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

BOD(またはCOD)の環境基準を満足している地点の割合は91%で、ここ10年間は横ばい
です。
(環境基準の満足状況は75%値で評価)

環境基準の類型が指定されている115調査地点（河川全102地点、湖沼13地点）中、105地点（河川102地点、湖沼3地点）で環境基準を満足しました。



近畿地方の一級河川（湖沼を含む）における環境基準の満足状況の経年変化

用語

COD(化学的酸素要求量)：湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、CODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

環境基準：人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準として決められた目標値。

人の健康の保護に関しては全国共通の基準値であるが、生活環境の保全に関しては地域ごとに基準値が定められている。

類型：環境基本法に川の水質に関する基準値が定められており、河川水の利用目的に応じて、満足すべき値や維持していくための目標値がある。

生活環境項目の環境基準は、全国一律の値ではなく、類型別に基準値が定められている。河川等の状況や利用状況を考慮して、地域ごとに類型を指定する。

75%値(BOD、COD)：年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）

例えば、毎月1回測定していた場合、水質の良い方から数えて12×0.75=9番目の値で評価する。

河川における類型ごとの環境基準値(BOD75%値)：AA類型：1、A類型：2、B類型：3、C類型：5、D類型：8、E類型：10（単位：mg/ℓ）

湖沼における類型ごとの環境基準値(COD75%値)：AA類型：1、A類型：3、B類型：5、C類型：8（単位：mg/ℓ）

ダイオキシン類実態調査結果

ダイオキシン類の実態調査結果は、水質が1地点で環境基準(1pg-TEQ/ℓ)を超過しました。底質はいずれの地点も環境基準(150pg-TEQ/g)を満足しています。

水質と底質のダイオキシン類実態調査を、平成11年度から管内10水系47地点で実施しています。令和6年度はこのうち10水系20地点において調査を行いました。

年間の評価値では、水質が木津川の1地点（岩倉橋）で環境基準（1pg-TEQ/ℓ）を超過する値（1.2pg-TEQ/ℓ）となりました。これによって、岩倉橋は重点監視地点として観測されることになります。一方、底質は全地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を満足しました。

検体ごとの結果では、木津川の1地点（岩倉橋）の水質において環境基準（1pg-TEQ/ℓ）を超過する値（1.9pg-TEQ/ℓ）が検出されました。

調査結果の概要

	調査地点数	環境基準値を超えた地点数
水質	20 地点	1 地点（※）
底質	13 地点	0 地点

※年間の評価値が環境基準値を超えた地点数を示す。木津川の岩倉橋で春季に環境基準値を超過している。

重点監視地点における調査結果

水系名	河川名	調査 地点名	地点の種類			調査時期	水質		底質	
			基準監視地点/ 補助監視地点 の区分	重点監視地点			検体毎の 調査結果	年間の 評価値 (※)	検体毎の 調査結果	年間の 評価値 (※)
				水質	底質					
淀川	木津川	岩倉橋	補助	○		春季	1.9	1.2	-	-
						夏季	0.57		-	

※年間の評価値：水質は年平均値、底質は年間の最大値。

用語

ダイオキシン類：ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾフラン』、『ポリ塩化ジベンゾパーラジオキシン』、『コプラナーポリ塩化ビフェニル』の3種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

重点監視地点：過年度の調査で環境基準値を超えた地点のうち、その後の調査で環境基準値を2年間下回っていない地点。

住民参加による水質調査の実施状況

国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するために、調査の一部を住民と河川管理者との協働で実施しています。

普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。

河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標について検討し、「今後の河川水質管理の指標について（案）」を平成 17 年 3 月にとりまとめました。このうち、「感覚的な水質指標」による調査では、調査の一部を住民と河川管理者との協働により平成 17 年から実施しており、普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。住民との協働による水質調査は、住民の川に対する意識の向上（情報提供を含む）、河川水質の情報収集、住民の主体的な行動を引き出すことなどにより、川の改善を目指すことをねらいとしています。

ここでは2024年に実施された住民との協働による調査の実施状況をご紹介します。

住民参加による水質調査の実施地点、参加者数

住民参加による水質調査は、近畿地方整備局管内全10水系51地点で実施され、合計1,810人の参加がありました。調査の種類としては水生生物調査が地点数、参加者数ともに最も多く、全参加者数の約半数の参加がありました。

住民参加による水質調査の種類には今後の河川水質管理の指標調査の他にも出前講座や環境学習、河川愛護活動、水生生物調査などがあります。

①河川愛護活動・イベントの一環として実施

河川愛護月間などの行事や地元が開催するイベントにおいて、体験メニューの一つとして水質調査を実施します。令和6年は、2水系4地点で実施され、348人の参加がありました。

②出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施

教育委員会や学校と河川管理者の連携のもと学校の授業において水質調査を実施します。令和6年は、1水系4地点で実施され、295人の参加がありました。

③今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施

国土交通省では、平成17年から、水質調査の一部を住民と河川管理者の協働により実施しています。令和6年は、1水系3地点で実施され、67人の参加がありました。

④水生生物による簡易水質調査として実施

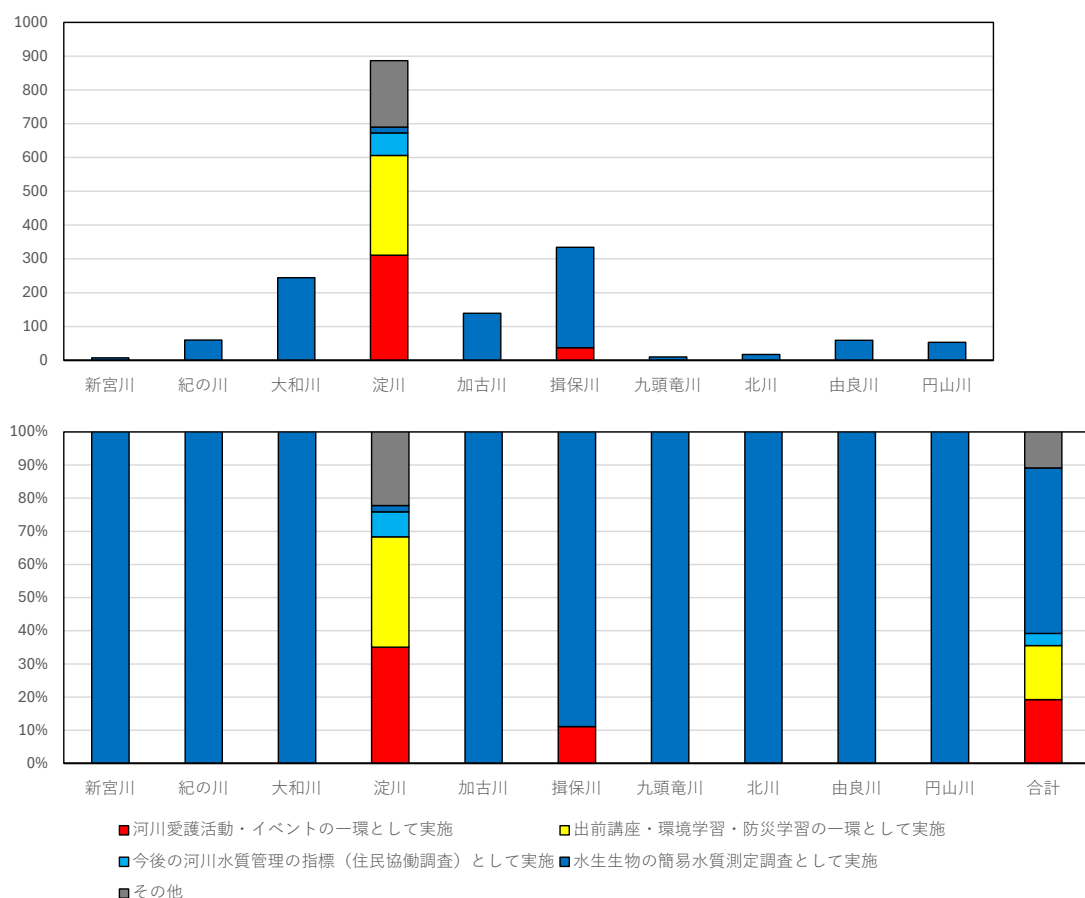
水生生物による簡易水質調査は、水の汚れ（水質汚濁）の長期的・複合的な状況を反映しているので、これらの生物の種類や数を調べることで、おおまかな河川の水質を知る調査です。令和6年は、近畿では10水系38地点で実施され、903人の参加がありました。

住民参加による水質調査：実施水系と地点数

水系	①河川愛護活動・イベントの一環として実施	②出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施	③今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施	④水生生物による簡易水質調査として実施	⑤その他	全体（R6住民参加による水質調査）
新宮川				1		1
紀の川				2		2
大和川				4		4
淀川	3	4	3	15	2	27
加古川				3		3
揖保川	1			8		9
九頭竜川				1		1
北川				1		1
由良川				1		1
円山川				2		2
水系数	2	1	1	10	1	10
地点数	4	4	3	38	2	51

※全体の地点数は延べ数

住民参加による水質調査：参加者数



住民参加による水質調査：参加者数が多かった上位5地点

順位	水系名	河川名	調査地点名	参加人数 (大人)	参加人数 (子ども)	参加人数 (計)
1	淀川	木津川	稲広橋	86	100	186
2	淀川	猪名川	池田床固下流	43	136	179
3	大和川	大和川	河内橋	0	157	157
4	淀川	猪名川	桑津橋	53	77	130
5	淀川	猪名川	初谷川	5	90	95



水質事故等の発生状況

水質の異常を見かけたらすぐに
最寄りの警察・消防・自治体・河川管理者に

通報

してください！
をお願いします

通報・連絡の際は、速やかな拡散防止や回収作業を行うための体制を確保するため、見つけた場所（川や橋の名前・目印となる建物など）、汚染物の種類（油・洗剤の泡など）、流出量（少し・たくさん）などの情報をお寄せください。

- 1.見つけた場所（川や橋の名前・目印となる建物など）
- 2.汚染物の種類（油・洗剤の泡など）
- 3.流出量（少し・たくさん）



水質の異常、
水質事故とは・・・？

➤ 油の流出、浮遊



➤ 有害物質の流出



➤ 魚のへい死



水質事故等の発生状況

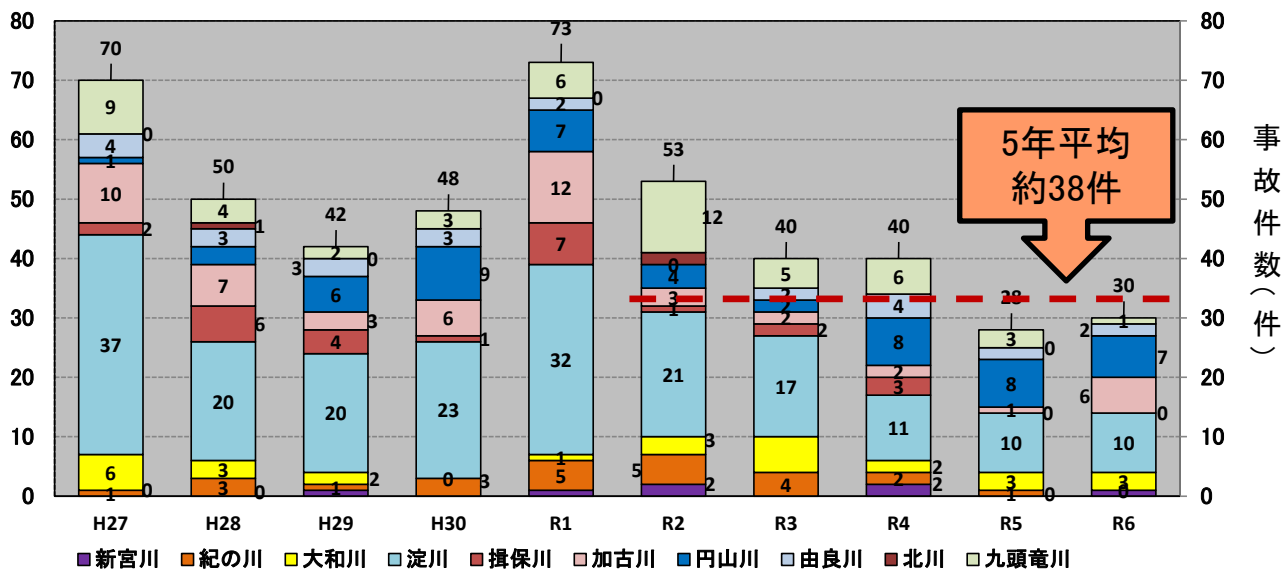
令和6年に近畿地方整備局管内で30件の水質事故が発生しました。

近畿地方整備局管内（※）の直近5年（R2～R6年）における平均の水質事故件数は38件ですが、令和6年は30件であり、この平均値を下回っています。

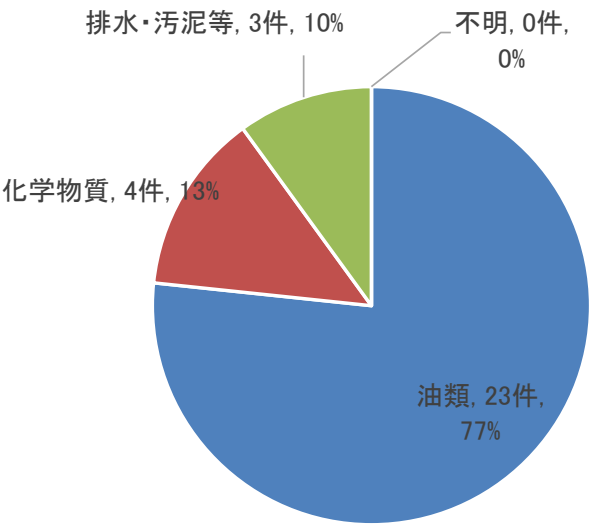
水質事故の種類別では油類によるものが最も多く、全体の77%を占めています。事故原因が判明した水質事故をみると、その原因は交通事故が7件（23%）と最も多く、次いで機械の故障が6件（20%）、工場等での操作ミス、不法投棄、自然現象がそれぞれ1件（3%）となっています。

※直轄河川とその流域

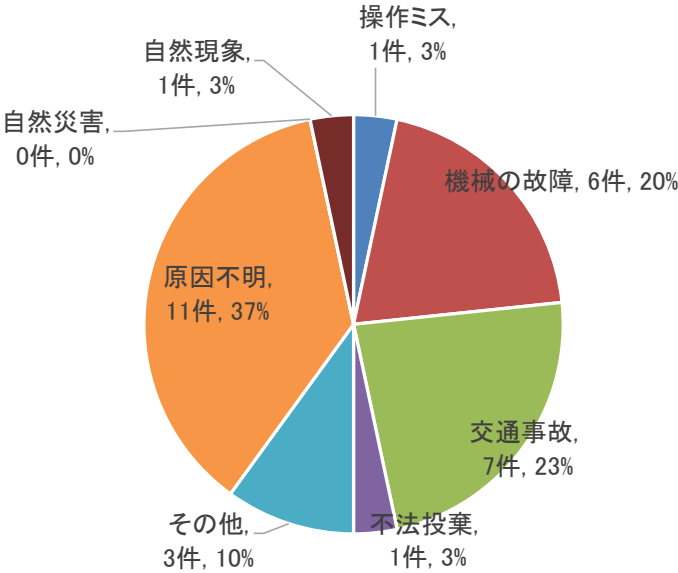
水系別経年変化



令和6年『種類』別の水質事故発生割合



令和6年『原因』別の水質事故発生割合



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

令和6年事故「種類」「原因」別割合

1級河川円山川の概要

円山川は、兵庫県北部の円山（標高640m）に源を発し、豊岡盆地を貫流し日本海に注ぐ一級河川です。

流域の面積は1,300km²で、河川の延長は68kmです。

円山川の流域内は山陰海岸国立公園や氷ノ山後山那岐山
 国定公園に指定され、下流域ではコウノトリを野生に戻す取り
 組みが進められています。

円山川流域はどんな地域？



魅力的な施設がたくさん

円山川流域には、玄武洞などの天然記念物や、久久比神社などの重要文化財、城崎温泉などの観光資源が豊富に存在します。



天然記念物 玄武洞



城崎温泉

写真：円山川水系河川整備基本方針
 流域及び河川の概要(案)

伝統工芸品「杞柳細工」

杞柳細工とは、国の伝統工芸品である柳のかご細工です。

杞柳細工は円山川に自生するコリヤナギでかごを編むことから始まり、豊臣秀吉の統治時代に産業として成立しました。

円山川の氾濫は多かった豊岡地域では、コメの収穫が不安定だったことから、コリヤナギを用いてかご作りがされるようになりました。



写真：兵庫県HP「兵庫県の伝統的工芸品の紹介」ページより転載
https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr09/ie07_000000024.html

円山川の水環境を知ろう！

定期水質調査

国土交通省では毎年、一級河川の水質調査を実施しています。(BODについては2～3頁に解説しています。)

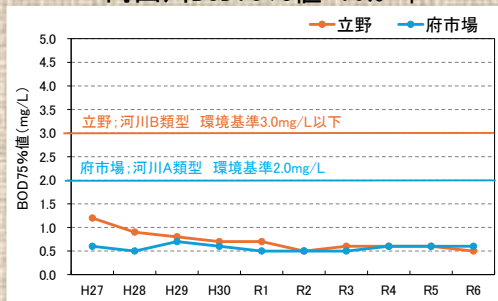
円山川水質の経年変化

河川A類型指定の府市場地点は概ね横ばいで推移しています。一方、府市場地点より下流の立野地点では10年間で0.7mg/L減少しています。

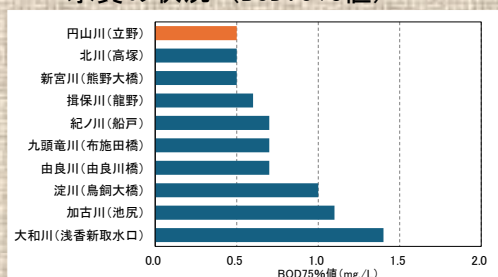
近畿の河川のなかの円山川の位置

2024年の円山川の代表地点(立野)の水質は、0.5mg/Lとなっており、近畿のほかの河川の代表地点と比較して一番きれいな水質となっています。

円山川BOD75%値 10か年



2024年各水系の代表地点で見た水質の状況 (BOD75%値)



水生生物調査

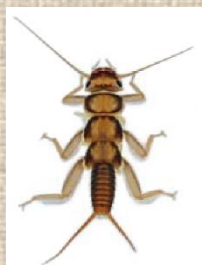
国土交通省と環境省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域住民の協力を得て『全国水生生物調査』を実施しています。

R6.6.14実施結果(府市場)

※水のきれいさの目安となる水生生物です

円山川で見られた指標生物※からの判定結果⇒ **きれいな水**

きれいな水



カワゲラ類

溪流の石の間や、流れがゆるやかで落葉などがたまっているところに住んでいます。



ヘビトンボ

肉食性で他の水生昆虫をえさにします。川底の石の下などにいます。



ヒラタカゲロウ類

流れの速いところの石に体を密着させて生活しています。

ややきれいな水



ヒラタドロムシ類

流れの速い瀬の石の表面にぴたりと付いています。



コオニヤンマ

流れの比較的遅いよどみの底で生活しています。

出典: 川の生きものを調べよう-水生生物による水質判定-(国土交通省)

円山川周辺環境がすごい！ ラムサール条約登録湿地とコウノトリ



- 「円山川下流域・周辺水田」は2012年にラムサール条約に登録されています。
- ラムサール条約とは、国際的に重要な湿地を守るための国際条約となっており、日本では53か所の湿地が登録されています。
- 円山川は、自然再生事業によって多くの湿地が保全・再生されています。また、コウノトリの生息地として地域をあげて湿地の保全活動が行われています。

～コウノトリはこんな鳥～



コウノトリは、1m以上にもなる大きな鳥で、河川や湿原などに生息し、バッタなどの昆虫、魚やカエル、ネズミなどの小動物をたべます。

なぜいなくなってしまったの？

第二次世界大戦後から、コウノトリがエサをとる湿地が少なくなってしまったことや、農業によってエサとなる生き物がいなくなっていくためです。

コウノトリと円山川周辺

円山川が流れる豊岡市では、1971年を最後に絶滅が確認され、1965年から人工飼育に取り組んでいます。

円山川の周辺に広がる湿地帯には多くの生き物が生息し、現在は主に水田近くの人工巣塔で営巣しています。

写真: 国土交通省HP

https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0602_maruyama/0602_maruyama_03.html

～自然再生事業を紹介～

円山川水系自然再生計画は、平成17年に策定され、「コウノトリと人が共生する環境の再生を目指して」をテーマに、多様な生物の生息・生育環境の復元を目指しています。

①特徴的な自然環境の保全・再生・創出

ヨシ原など抽水植物群落や河畔林の再生・創出を行い、動植物の生育・生息場としての機能の保全を目指しています。

下鶴井地区のヨシ原の再生



整備前

整備後

②湿地環境の再生・創出

野生のコウノトリが近年最も多く生息していた昭和初期の湿地面積程度を確保することを目指しています。

加陽地区湿地再生



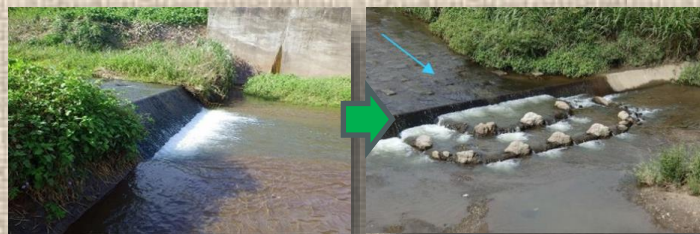
整備前

整備後

③水生生物の生態を考慮した河川の連続性の確保

河川と水路の接続部の落差を解消することで（連続性の確保）、魚類等の生物の生息域や遡上できる範囲を拡大する効果を期待しています。

八代水門の落差改善のヨシ原の再生



整備前

整備後

④人と河川との関わりの保全・再生・創出

以下、具体的な取り組みの一部です。

- ・アユの産卵床造成実験（出石川）
- ・小学校、地元住民と連携したモニタリング調査

アユの産卵利用を妨げる外来植生を駆除



写真：豊岡河川国道事務所HP

<https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/kasen/saisei/index.html>

こんな川です円山川

全国でも珍しい円山川の「川あらし」

「川あらし」とは、濃霧が強風により川沿いを下って海へと流れだす現象です。全国の一級河川で川あらしが確認できるのは、円山川のほか、愛媛県大洲市の肱川、鹿児島県薩摩川内市の川内川の3か所のみとなっています。

川あらしは前日に湿度が高く、夜から明け方の気温差が大きいですっきりと晴れた早朝に発生しやすく、円山川では10月から翌年3月ごろまで多く見られます。



写真：豊岡市観光公式サイト

令和6年 近畿地方一級河川の水質現況 概要パンフレット

Recent condition of water quality of class A river in Kinki



国土交通省 近畿地方整備局
河川部 河川環境課

〒540-8586
大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎
Tel. 06-6942-1141（代表）

令和7年7月

※このパンフレットは見開きでご活用下さい。